

井坂博文

こんにちは
市会議員



連絡先／日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町78／電話432-3261／F A X 441-4968

核兵器廃絶の夏、

原水爆禁止世界大会・長崎

7日、開会総会会場には6千人が参加



私は京都原水協常任理事として京都代表団の事務局を務めた。博多からバスに乗り換え世界大会会場に到着すると、台風直撃を免れた長崎はひたすら暑い。
大会主催者を代表して安齋育郎さんが報告。禁止条約と被爆72年を数学的に解明された。

「72は2の3乗×3の2乗でアキレス数といふ数学的にパワフルだが、一つの数字の乗ではなくパーフェクトでない。これは禁止条約にも言える、122カ国が賛成しパワフルだが、核保有国とその傘下にある国が不参加でありパーフェクトでない。それをしつかり認識して禁止条約の調印国を広げ、廃絶をめざそう」と。なかなか含蓄ある話だった。

続いて中満泉国連軍縮担当上級代表の発言。中満さんは、国連での核兵器禁止条約交渉会議をリードしてきた。「この条約は核兵器に依存する国々への警鐘」「核心は核兵器を否定し、国際法として成文化したこと」「国連は核兵器ない世界という目標へ具体的な歩みを進めるため、すべての国々や市民社会と協力し、いっそう努力したい」と訴えられた。あとで聞いたら国連で禁止条約が採択された瞬間、席上でガッツポーズをとられたそうだ。



また、田上長崎市長が長崎の核兵器禁止団体と一緒に壇上に上がり、「長崎からみなさんにエールを送ります」とあいさつされた。京都の知事や市長にも見習ってほしいものだ。

8日、原水禁世界大会・長崎二日目は分科会

昼から始まるフォーラム「政府とNGOの対話」に参加する計画。午前中は長崎の文化探索に、グラバー邸と大浦天主堂を回った。長崎は坂の街、と言われるように坂道が多い。至るところ

にエスカレーターや動く歩道が設置されている。

昼食は定番の長崎ちゃんぽんを食して、いざフォーラムの会場に。移動する手段は電車。120円の運賃で乗り換えの際には乗り継ぎ券を渡してくれる優しい電車だ。

フォーラムは、核兵器禁止条約採択を受けてオーストリア政府代表、フランス、アメリカのNGO、日本原水協代表がパネラーとして登場。



禁止条約の意義と各国での取り組みが紹介され、各国の事情と課題がよくわかった。質問コーナーでは、若い世代を巻き込んでいく取り組み、北朝鮮の核開発への対応、唯一の被爆国である日本政府が条約に歓迎され、核兵器廃絶に向けて大きく動き出していることを実感した

9日、開会総会には7千人が参加

台風直撃で開会総会に参加できなかった四国の代表が加わり、会場は開会前から満員、満席。やむなくスクリーンのある第二会場に移動。

長崎の被爆者である松谷英子さんが被爆の瞬間とその後の苦しみと言われなき差別、裁判闘争の話がされた。最後に「私たち被爆者に残された時間は多くない。核兵器のない世界の実現を」「ノーモア・ヒバクシャ」と力強く訴えた。

何度聞いても被爆者の生の話はリアルだ。帰りのバス車中での感想だし合中中でも、「被爆者の語り部を初めて聞いてショックだった。改めて核兵器はなくすしかない」という感想が多く出された。禁止条約の批准を広げる運動、ヒバクシャ署名の推進とともに、被爆の実相を広げることが、被爆国である日本の原水禁運動の役割である。

閉会総会は、長崎決議「長崎からのよびかけ」が満場の拍手で採択され閉会した。



参加者からは「また機会があれば大会に参加したい」「帰ったら職場や地域で報告会をします」という声も多く出された。私も、大会と参加者からがんばる決意と勇気をいっぱいもらった。

議員団の視察で行政のあり方を学ぶ

先週の常任委員会に続いて2日から議員団の他都市調査に。常任委員会の調査は超党派で共通するテーマを調査して共通する土台での委員会議論につながるし、議員団の調査は問題意識を鮮明にして掘り下げた調査で議員団の提案や委員会議論に活かせる。

その中で千代田区と八王子市の調査で自治体職員の方と行政のあり方を学んだ。



千代田区の調査テーマは「違法民泊への対応」。担当者は「区民の安全を守るのは当然の責務」と言い、「民泊は旅館業の許可が必要で」とのリーフレットを区内に配布し、民泊新法の施工令を待たずに対応している。

八王子市の調査テーマは「就学援助と入学準備金の入学前支給制度」。国の生活保護基準引き下げに対しては、国ではなく就学援助額を引き上げ、係数を引き上げて増額している。入学準備金についても「就学準備に必要なもの」として3月1日に支給している。

両市に共通しているのは、職員と行政が住民の方を向いて仕事をしていることだ

涼しい広島の実家で草刈りを満喫

10日の夕方京都を出発して、シンデレラになる直前に広島の実家に到着。

翌朝起きたらとにかく涼しい！朝ご飯食べてさっそく定番の草刈りに。草刈り機でバタバタと刈るとストレス発散、快感。

帰りに、京都から庄原市にUターンして長年市会議員を務める先輩宅を訪問。

ヤギと犬と孫に囲まれ、米とエゴマをつくらせて頑張っている。

